

2016年3月期第3四半期決算の概要

東レ株式会社
2016年2月9日

目次

I . 2016年3月期第3四半期決算の概要

2016年3月期第3四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-16)
営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)	(P17)
主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)	(P18)

II . 2016年3月期連結業績見通し

2016年3月期連結業績見通し	(P20)
セグメント別業績見通し	(P21)

I . 2016年3月期第3四半期決算の概要

2016年3月期第3四半期連結損益概要

	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
売上高	5,390	5,517	+127 (+2.4%)	14,870	15,803	+933 (+6.3%)
売上原価	4,354	4,381	+26 (+0.6%)	11,977	12,493	+515 (+4.3%)
売上総利益	1,036	1,136	+101 (+9.7%)	2,892	3,310	+418 (+14.4%)
(売上高総利益率)	19.2%	20.6%	+1.4 ポイント	19.5%	20.9%	+1.5 ポイント
販売費及び 一般管理費	684	707	+22 (+3.3%)	2,028	2,129	+101 (+5.0%)
(売上高販管費比率)	12.7%	12.8%	+0.1 ポイント	13.6%	13.5%	-0.2 ポイント
営業利益	352	430	+78 (+22.3%)	865	1,181	+316 (+36.6%)
(売上高営業利益率)	6.5%	7.8%	+1.3 ポイント	5.8%	7.5%	+1.7 ポイント
営業外収支	4	▲7	-11	56	▲4	-59
経常利益	356	423	+67 (+18.8%)	921	1,177	+257 (+27.9%)
特別損益	▲10	0	+10	▲31	▲28	+3
税前利益	346	423	+77 (+22.2%)	890	1,149	+260 (+29.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	213	267	+55 (+25.7%)	625	762	+136 (+21.8%)

億円

	(15/3 3Q)	→	(16/3 3Q)	(15/3 3Q累計)	→	(16/3 3Q累計)
為替レート <円/US\$> 期中平均	114.5	→	121.5	106.9	→	121.7
期末	120.6	→	120.6			
<円/ユーロ> 期中平均	143.1	→	132.9	140.3	→	134.4
期末	146.5	→	131.8			

営業外収支

億円

	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
営業外収益	50	30	-20	174	123	-52
受取利息及び配当金	13	16	+3	37	44	+6
持分法による投資利益	17	10	-8	101	43	-58
雑収入	20	4	-15	36	36	-0
営業外費用	▲ 46	▲ 37	+9	▲ 119	▲ 127	-8
支払利息	▲ 13	▲ 13	+0	▲ 42	▲ 43	-1
休止設備関連費用	▲ 6	▲ 11	-5	▲ 18	▲ 31	-13
雑損失	▲ 27	▲ 13	+14	▲ 59	▲ 53	+6
営業外収支	4	▲ 7	-11	56	▲ 4	-59
金融収支	▲ 1	2	+3	▲ 5	1	+6

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
特別利益	7	27	+20	10	36	+26
有形固定資産売却益	0	1	+1	2	4	+1
投資有価証券売却益	5	23	+17	5	28	+23
その他	2	3	+1	2	4	+2
特別損失	▲ 17	▲ 27	-10	▲ 41	▲ 64	-23
有形固定資産処分損	▲ 14	▲ 25	-11	▲ 33	▲ 44	-10
投資有価証券評価損	▲ 0	-	+0	▲ 0	▲ 18	-17
その他	▲ 3	▲ 2	+1	▲ 7	▲ 2	+5
ネット特別損益	▲ 10	0	+10	▲ 31	▲ 28	+3

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産

億円

	15年3月末	15年12月末	増減
資産合計	23,579	24,172	+593
流動資産	10,179	10,858	+679
有形固定資産	8,556	8,441	-115
無形固定資産	985	932	-53
投資その他	3,860	3,942	+82
	15年3月末	15年12月末	増減
負債合計	12,772	13,480	+709
流動負債	6,009	6,622	+613
固定負債	6,763	6,859	+95
純資産合計	10,808	10,691	-116
有利子負債残高	7,003	7,820	+818
D/Eレシオ	0.71	0.79	+0.08

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	特記事項
設備投資額	840	875	+35	東レ:179、連結子会社:695
減価償却費 ー)	570	655	+84	東レ:211、連結子会社:443
振替・除却等	91	▲ 336	-427	
有形固定資産増減	361	▲ 115	-476	
研究開発費	436	433	-3	

主な設備投資:

TAK (Toray Advanced Materials Korea Inc.): PPS(ポリフェニレンサルファイド)樹脂設備

CFA (Toray Carbon Fibers America, Inc.): 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備

Zoltek (Zoltek Companies, Inc.): ラージトウ炭素繊維設備

TCK(Toray Chemical Korea Inc.): ポリエステル短繊維設備

セグメント別売上高・営業利益

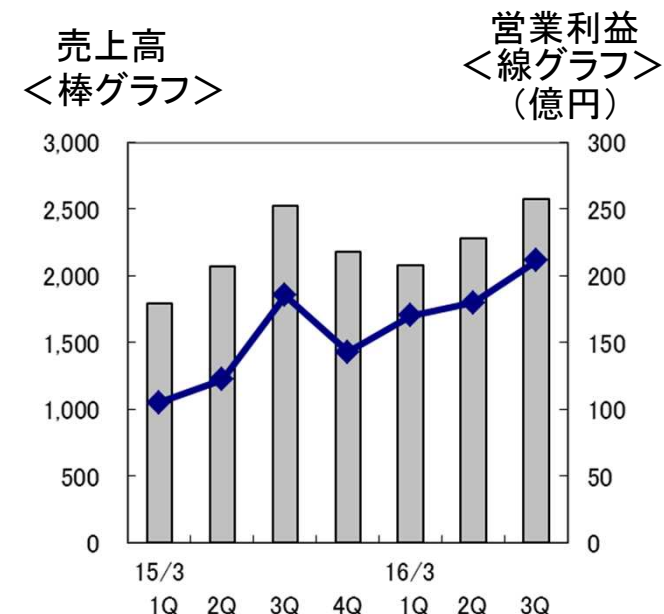
億円

	売上高			営業利益		
	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減	15年3月期 第3四半期 (10~12月)	16年3月期 第3四半期 (10~12月)	増減
繊維	2,528	2,577	+49 (+1.9%)	185	212	+26 (+14.1%)
プラスチック・ケミカル	1,245	1,282	+37 (+2.9%)	59	88	+29 (+48.8%)
情報通信材料・機器	623	626	+3 (+0.4%)	57	74	+17 (+29.4%)
炭素繊維複合材料	398	457	+59 (+14.9%)	67	79	+12 (+17.5%)
環境・エンジニアリング	417	396	-21 (-5.1%)	15	18	+3 (+17.5%)
ライフサイエンス	146	145	-1 (-0.7%)	14	12	-2 (-16.6%)
その他	32	34	+2 (+4.7%)	3	5	+2 (+45.6%)
計	5,390	5,517	+127 (+2.4%)	402	487	+85 (+21.3%)
調整額				▲ 50	▲ 57	-7
連結	5,390	5,517	+127 (+2.4%)	352	430	+78 (+22.3%)

	売上高			営業利益		
	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減
繊維	6,390	6,936	+546 (+8.5%)	413	562	+149 (+36.1%)
プラスチック・ケミカル	3,707	3,854	+147 (+4.0%)	176	244	+68 (+38.7%)
情報通信材料・機器	1,841	1,876	+34 (+1.8%)	161	194	+33 (+20.8%)
炭素繊維複合材料	1,164	1,401	+236 (+20.3%)	185	265	+80 (+43.2%)
環境・エンジニアリング	1,251	1,222	-29 (-2.3%)	36	34	-2 (-5.5%)
ライフサイエンス	411	409	-2 (-0.6%)	31	18	-13 (-42.1%)
その他	104	106	+2 (+1.5%)	10	10	-1 (-5.0%)
計	14,870	15,803	+933 (+6.3%)	1,013	1,327	+315 (+31.1%)
調整額				▲ 148	▲ 146	+2
連結	14,870	15,803	+933 (+6.3%)	865	1,181	+316 (+36.6%)

セグメント別業績(繊維)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		15年 3月期	16年 3月期	増減		15年 3月期	16年 3月期	増減	
売上高	東レ	461	473	+12	(+2.6%)	1,356	1,453	+97	(+7.2%)
	国内	1,499	1,455	-44	(-2.9%)	3,442	3,536	+93	(+2.7%)
	海外	1,300	1,435	+135	(+10.4%)	3,542	4,257	+716	(+20.2%)
	修正	▲ 732	▲ 786	-54		▲ 1,950	▲ 2,310	-360	
	計	2,528	2,577	+49	(+1.9%)	6,390	6,936	+546	(+8.5%)
営業利益	東レ	39	48	+9	(+24.3%)	105	143	+38	(+36.6%)
	国内	42	43	+1	(+3.0%)	88	97	+9	(+9.6%)
	海外	87	112	+25	(+28.4%)	229	347	+118	(+51.6%)
	修正	18	9	-9		▲ 8	▲ 24	-16	
	計	185	212	+26	(+14.1%)	413	562	+149	(+36.1%)



3Q (10~12月)

国内では、衣料用途は需要が低調で、産業用途も自動車関連用途向けの一部で顧客による在庫調整の影響が出る中、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化などを進めることで採算の改善に注力。
海外では、エアバッグ用基布や内装材料といった自動車関連用途向けや衛生材料向けが堅調に推移。

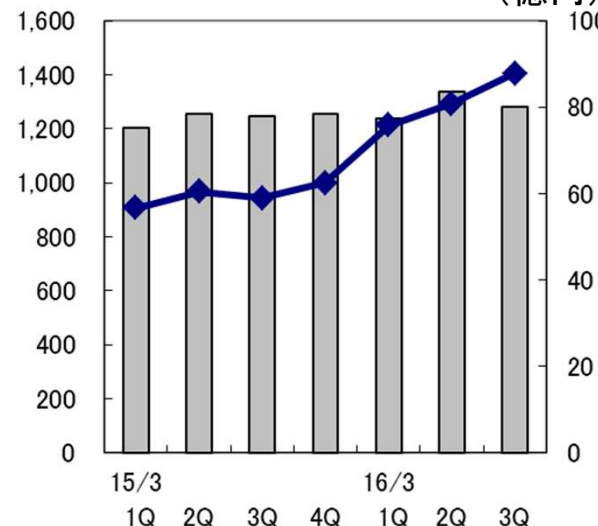
3Q累計 (4~12月)

国内では、衣料用途は需要が低調で、産業用途も自動車関連用途向けの一部で顧客による在庫調整の影響が出る中、全般的に拡販に努めるとともに、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化などを進めることで採算の改善に注力。
海外では、欧州需要の低迷や中国内需の伸び悩みの影響を受けたが、中国や東南アジアのテキスタイル子会社が拡販と高付加価値品へのシフトを進めた。またエアバッグ用基布や内装材料といった自動車関連用途向けが堅調に推移し、衛生材料向けも東南アジアやインドにおける需要が拡大。

セグメント別業績(プラスチック・ケミカル)

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)			億円	
		15年 3月期	16年 3月期	増減	15年 3月期	16年 3月期	増減		
売上高	東レ	338	297	-41 (-12.1%)	1,049	925	-125 (-11.9%)		
	国内	955	957	+2 (+0.2%)	2,767	2,844	+77 (+2.8%)		
	海外	911	845	-67 (-7.3%)	2,751	2,714	-37 (-1.3%)		
	修正	▲ 959	▲ 817	+143	▲ 2,860	▲ 2,629	+231		
	計	1,245	1,282	+37 (+2.9%)	3,707	3,854	+147 (+4.0%)		
営業利益	東レ	6	14	+8 (+121.7%)	19	40	+21 (+111.0%)		
	国内	25	19	-5 (-21.5%)	70	56	-14 (-20.0%)		
	海外	29	55	+26 (+87.5%)	90	150	+60 (+67.2%)		
	修正	▲ 1	▲ 1	+1	▲ 3	▲ 2	+1		
	計	59	88	+29 (+48.8%)	176	244	+68 (+38.7%)		

売上高
棒グラフ



営業利益
線グラフ
(億円)

3Q (10~12月)

樹脂：国内では、自動車用途・非自動車用途ともに出荷は堅調に推移した。海外では、米国の子会社が自動車関連用途向けの出荷を拡大したほか、マレーシアの子会社もABS樹脂の出荷が堅調に推移。

フィルム：包装用途向けが国内、海外ともに総じて堅調に推移。また、多くの用途で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

なお、樹脂、フィルムともに昨年来の原料価格下落に伴う販売価格下落の影響を受けた。

3Q累計 (4~12月)

樹脂事業は、国内では自動車関連用途向けの出荷が生産台数減少の影響を受けたが、それ以外の用途は全体として堅調。海外では米国の子会社で自動車関連用途向けの出荷が拡大し、マレーシアの子会社もABS樹脂の出荷が堅調に推移。

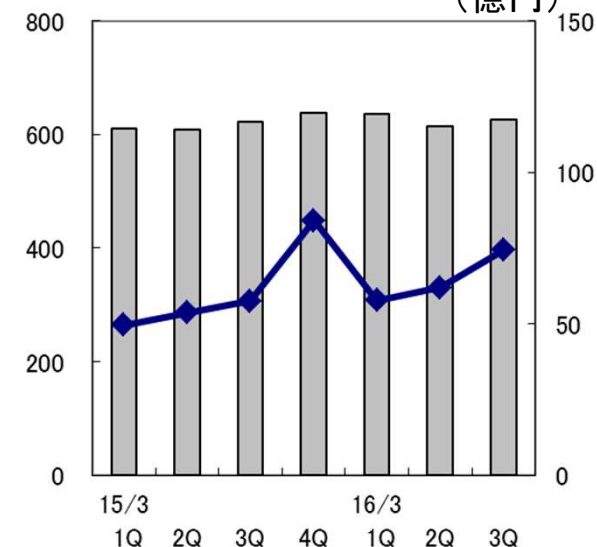
フィルム事業は、包装用途向けが国内外で堅調。また、多くの用途で価格競争の影響を受けたが、高付加価値品の拡販や原価改善に注力することで採算の改善に努めた。

セグメント別業績(情報通信材料・機器)

億円

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		15年 3月期	16年 3月期	増減		15年 3月期	16年 3月期	増減	
売上高	東レ	223	221	-2	(-0.9%)	674	649	-25	(-3.7%)
	国内	236	280	+44	(+18.6%)	708	764	+56	(+8.0%)
	海外	260	232	-28	(-10.9%)	754	776	+22	(+2.9%)
	修正	▲ 96	▲ 107	-11		▲ 294	▲ 313	-19	
	計	623	626	+3	(+0.4%)	1,841	1,876	+34	(+1.8%)
営業利益	東レ	15	24	+9	(+62.2%)	52	49	-3	(-5.8%)
	国内	22	38	+16	(+73.3%)	57	76	+19	(+32.3%)
	海外	29	20	-9	(-31.6%)	76	92	+16	(+20.8%)
	修正	▲ 9	▲ 8	+1		▲ 25	▲ 23	+2	
	計	57	74	+17	(+29.4%)	161	194	+33	(+20.8%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

3Q (10~12月)

大型液晶パネル向けでは、フィルム・フィルム加工品や回路材料等の関連材料は顧客の生産調整の影響を受けた。スマートフォン向けでは、電子部品向けを中心に堅調に推移。また、国内子会社が液晶カラーフィルター製造装置等の販売を拡大。一方で、各材料とも引き続き価格競争の影響を受けており、原価改善などにより採算の維持に努めた。

3Q累計 (4~12月)

大型液晶パネル向けでは、大画面化が進展し4Kテレビの需要も拡大したが、フィルム・フィルム加工品等の関連材料は顧客の生産調整の影響を受けた。スマートフォンやタブレット端末の関連材料は、韓国の子会社で高機能回路材料の出荷が拡大するなど、堅調に推移。また、国内子会社が液晶カラーフィルター製造装置等の販売を拡大。一方で、各材料とも引き続き価格競争の影響を受けており、原価改善などにより採算の維持に努めた。

情報通信材料・機器セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

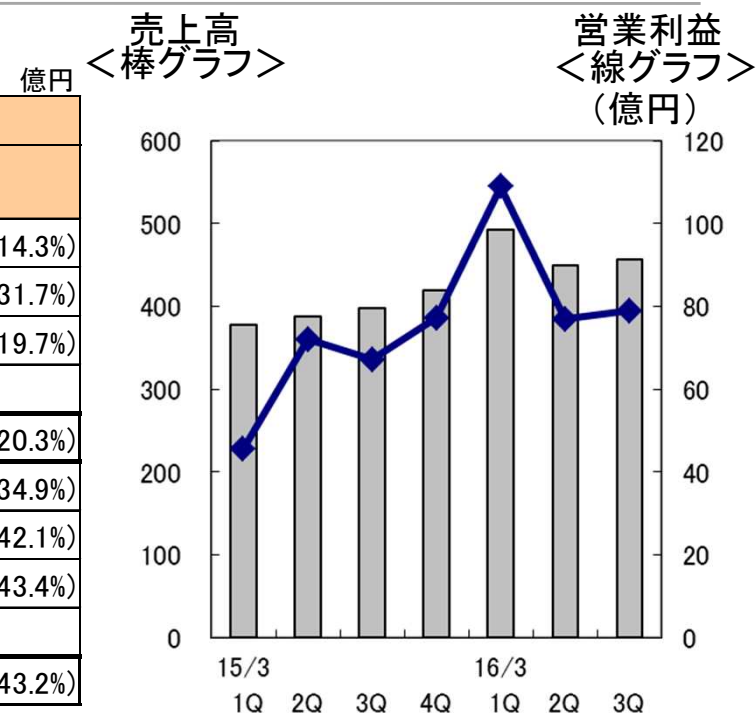
億円

	15年3月期第3四半期 (10~12月)		16年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	213	34%	183	29%	-14%
電子部品・半導体・回路材料	277	44%	275	44%	-1%
記録材料	86	14%	74	12%	-14%
機器他	48	8%	94	15%	+97%
合計	623		626		+0%

	15年3月期第3四半期累計 (4~12月)		16年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
ディスプレイ材料	634	34%	541	29%	-15%
電子部品・半導体・回路材料	809	44%	912	49%	+13%
記録材料	245	13%	230	12%	-6%
機器他	154	8%	192	10%	+25%
合計	1,841		1,876		+2%

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		15年 3月期	16年 3月期	増減		15年 3月期	16年 3月期	増減	
売上高	東レ	230	264	+34	(+14.6%)	696	796	+99	(+14.3%)
	国内	172	218	+46	(+26.8%)	468	617	+148	(+31.7%)
	海外	348	377	+29	(+8.4%)	1,018	1,219	+201	(+19.7%)
	修正	▲ 353	▲ 402	-50		▲ 1,018	▲ 1,231	-212	
	計	398	457	+59	(+14.9%)	1,164	1,401	+236	(+20.3%)
営業利益	東レ	36	48	+12	(+32.1%)	116	157	+41	(+34.9%)
	国内	2	3	+1	(+31.9%)	6	8	+2	(+42.1%)
	海外	40	37	-3	(-8.6%)	91	130	+39	(+43.4%)
	修正	▲ 11	▲ 9	+3		▲ 28	▲ 30	-2	
	計	67	79	+12	(+17.5%)	185	265	+80	(+43.2%)



3Q (10~12月)

レギュラートウ炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の販売は、航空宇宙用途を中心に好調に推移。また、2014年後半及び2015年前半に生産を開始した新規設備が増産と拡販に寄与したほか、燃料電池自動車向けの製品の出荷も堅調に推移。米国のラージトウ炭素繊維子会社では、主力の風車用途向けに出荷が拡大し、航空機のブレーキに使われる耐炎系の出荷も堅調に推移。

3Q累計 (4~12月)

レギュラートウ炭素繊維は、航空機需要の拡大や圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大を背景に、航空宇宙用途や一般産業用途向けに炭素繊維及び中間加工品(プリプレグ)の出荷が拡大。また、2014年後半及び2015年前半に生産を開始した新規設備が増産と拡販に寄与したほか、燃料電池自動車向けの製品の出荷が本格的に開始。米国のラージトウ炭素繊維子会社では、主力の風車用途向けに出荷が拡大し、航空機のブレーキに使われる耐炎系の出荷も堅調。

炭素繊維複合材料セグメントの売上高の詳細

【サブセグメント別売上高推移】

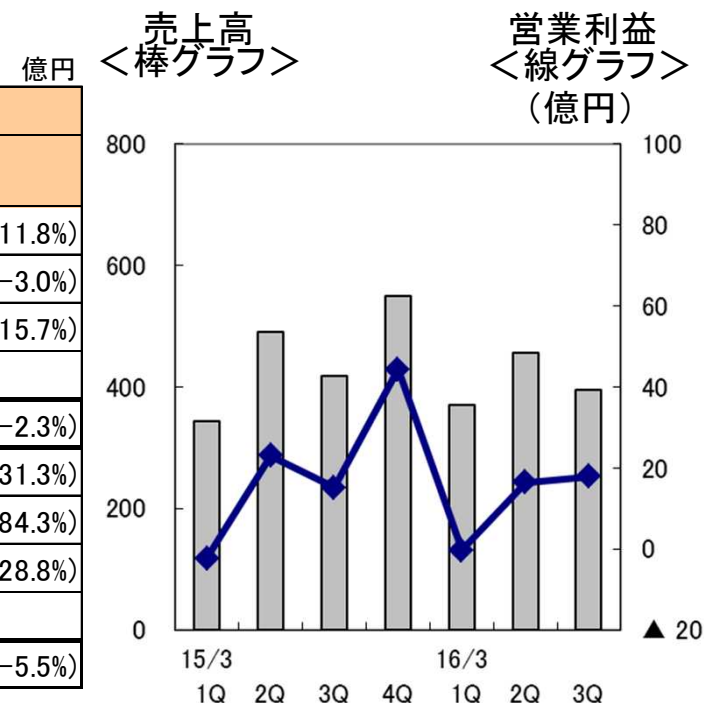
億円

	15年3月期第3四半期 (10~12月)		16年3月期第3四半期 (10~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	196	49%	232	51%	+18%
スポーツ	41	10%	39	9%	-3%
一般産業	161	40%	187	41%	+16%
計	398		457		+15%

	15年3月期第3四半期累計 (4~12月)		16年3月期第3四半期累計 (4~12月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	571	49%	712	51%	+25%
スポーツ	119	10%	123	9%	+3%
一般産業	474	41%	566	40%	+19%
計	1,164		1,401		+20%

セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

		3Q(10~12月)				3Q累計(4~12月)			
		15年 3月期	16年 3月期	増減		15年 3月期	16年 3月期	増減	
売上高	東レ	54	48	-6	(-10.7%)	170	150	-20	(-11.8%)
	国内	530	541	+11	(+2.0%)	1,497	1,452	-45	(-3.0%)
	海外	64	73	+9	(+13.8%)	182	210	+29	(+15.7%)
	修正	▲ 231	▲ 266	-35		▲ 597	▲ 590	+8	
	計	417	396	-21	(-5.1%)	1,251	1,222	-29	(-2.3%)
営業利益	東レ	1	1	-0	(-47.1%)	3	7	+4	(+131.3%)
	国内	11	9	-2	(-17.0%)	24	4	-21	(-84.3%)
	海外	5	10	+5	(+110.3%)	12	27	+15	(+128.8%)
	修正	▲ 1	▲ 1	-0		▲ 4	▲ 5	-1	
	計	15	18	+3	(+17.5%)	36	34	-2	(-5.5%)



3Q
(10~12月)

水処理事業: 韓国や中国の子会社の業績が堅調に推移。

国内子会社: 商事子会社が取扱高を増やしたが、エンジニアリング子会社ではプラント工事が減少し、建設子会社ではマンション販売戸数が前年同期を下回った。

3Q累計
(4~12月)

水処理事業は、コストダウンの進展や円安を背景に、逆浸透膜などの日本からの輸出について採算の改善が進んだ。また、韓国や中国の子会社の業績が堅調に推移。

国内子会社は、エンジニアリング子会社でプラント工事が減少し、建設子会社ではマンション販売戸数が前年同期を下回った。

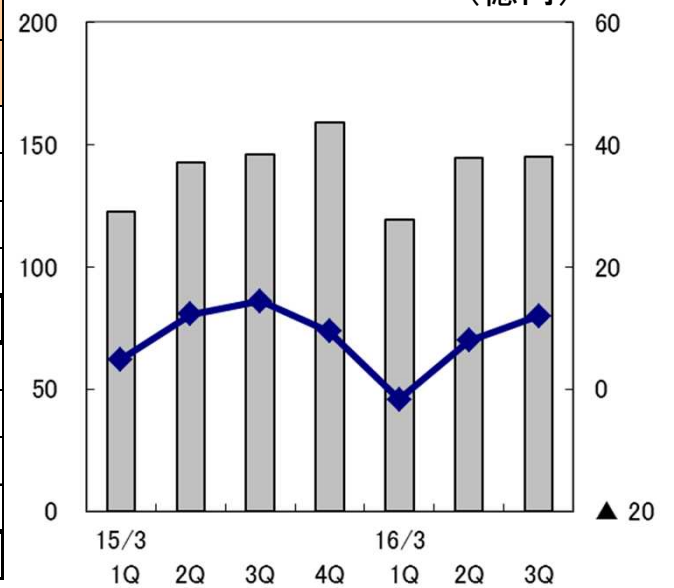
セグメント別業績(ライフサイエンス)

億円

		3Q(10~12月)			3Q累計(4~12月)		
		15年 3月期	16年 3月期	増減	15年 3月期	16年 3月期	増減
売上高	東レ	93	86	-7 (-7.1%)	254	250	-4 (-1.6%)
	国内	102	102	+0 (+0.4%)	288	297	+9 (+3.1%)
	海外	25	29	+4 (+16.5%)	58	91	+33 (+57.6%)
	修正	▲ 73	▲ 72	+1	▲ 189	▲ 230	-41
	計	146	145	-1 (-0.7%)	411	409	-2 (-0.6%)
営業利益	東レ	16	16	-0 (-0.8%)	36	22	-14 (-39.2%)
	国内	1	1	-0 (-4.5%)	1	4	+3 (+206.8%)
	海外	▲ 2	▲ 1	+1 (-)	▲ 3	▲ 1	+2 (-)
	修正	▲ 1	▲ 4	-3	▲ 3	▲ 7	-4
	計	14	12	-2 (-16.6%)	31	18	-13 (-42.1%)

売上高
棒グラフ

営業利益
線グラフ
(億円)



**3Q
(10~12月)**

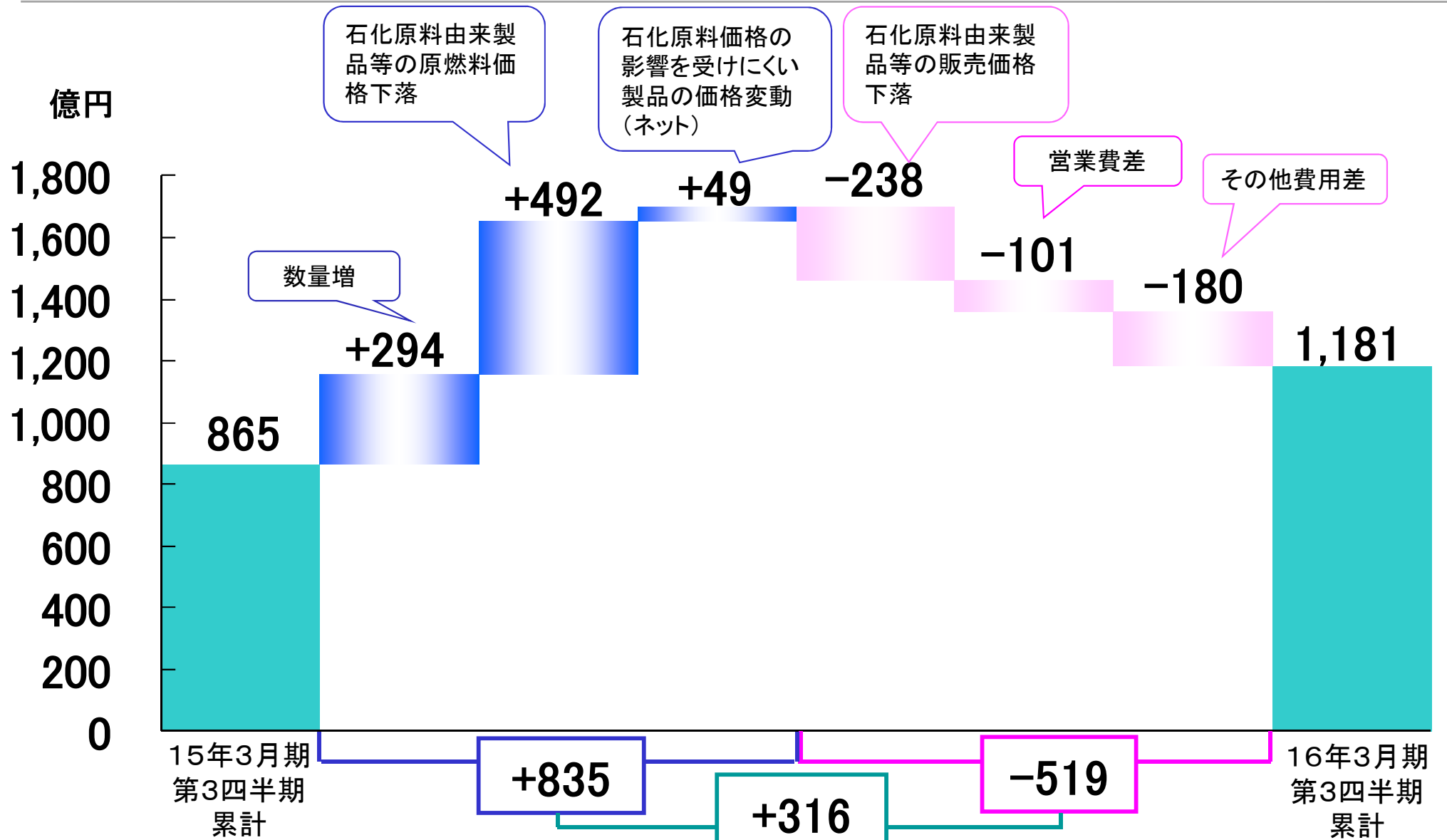
医薬事業は、血液透析患者向けの経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*の販売が堅調に推移したが、既存薬の天然型インターフェロンβ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体製剤ドルナー[®]は代替治療薬や後発医薬品の影響を受けたことなどにより低調に推移。また、ライセンス収入が減少。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が拡大したことに加え、輸出採算が改善。

**3Q累計
(4~12月)**

医薬事業は、フェロン[®]やドルナー[®]の出荷が代替治療薬や後発医薬品の影響を受けたことなどにより低調に推移。また、ライセンス収入が減少。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が拡大したことに加え、輸出採算の改善が進んだことから、業績は堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第3四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、プラスチック・ケミカル、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社収益状況(第3四半期累計期間)

		売上高			営業利益			億円
		15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	15年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	16年3月期 第3四半期累計 (4~12月)	増減	
東レインターナショナル		4,440	4,599	+159	88	99	+11	
東レエンジニアリング		562	565	+4	11	17	+5	
東レ建設		363	301	-62	12	0	-11	
東レフィルム加工		355	319	-37	18	11	-7	
東レ・メディカル		288	297	+9	1	4	+3	
TAK(韓国)		903	877	-26	80	90	+9	
TPM(マレーシア)		534	511	-23	20	47	+27	
在東南アジア・子会社 *1	繊維	930	953	+23	43	64	+22	
	プラスチック・ケミカル	634	620	-14	26	57	+31	
	その他	61	65	+4	4	8	+4	
	計	1,626	1,638	+12	72	129	+57	
在中国・子会社 *2	繊維	1,563	2,210	+647	129	189	+61	
	プラスチック・ケミカル	635	610	-25	19	28	+10	
	その他	143	196	+53	▲1	4	+5	
	計	2,341	3,017	+676	146	222	+76	
在外・フィルム子会社 *3	プラスチック・ケミカル	806	798	-7	40	54	+14	
	情報通信材料・機器	506	457	-49	67	56	-11	
	計	1,312	1,255	-56	107	110	+3	

* 1: ITS、ETX、ISTEM、ACTEM、CENTEX、TPJ、PFR、PAB-G、TTS、LTX、TTTM、TPM

* 2: TFNL、TSD、TJQ、TPN、TCH、TICH、TIHK、THK-G、TPCH-G、TPPH/TPPZ、TFH/TFZ、TBMC、TMQ、TFCC、TFN

* 3: TAK、TCK、PFR、TPA、TFE、TFH/TFZ、TAFK、TFN

* 上記アルファベットは各社の略称、金額は単純合計

Ⅱ. 2016年3月期連結業績見通し

2016年3月期連結業績見通し

億円

		15年3月期 実績	16年3月期 見通し	対前年同期比 増減		前回見通し	前回見通し との差異
売上高	上期	9,480	10,286	+806	(+8.5%)	10,286	—
	下期	10,628	11,114	+487	(+4.6%)	11,714	-600
	通期	20,107	21,400	+1,293	(+6.4%)	22,000	-600
営業利益	上期	513	751	+238	(+46.4%)	751	—
	下期	722	799	+77	(+10.7%)	799	—
	通期	1,235	1,550	+315	(+25.5%)	1,550	—
経常利益	上期	565	755	+190	(+33.6%)	755	—
	下期	721	795	+74	(+10.3%)	795	—
	通期	1,286	1,550	+264	(+20.6%)	1,550	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	413	494	+82	(+19.8%)	494	—
	下期	298	406	+108	(+36.3%)	406	—
	通期	710	900	+190	(+26.7%)	900	—
1株当たり 当期純利益	上期	25.70円	30.93円				
	下期	18.61円	25.37円				
	通期	44.33円	56.30円				
1株当たり 配当金	上期	5.00円	6.00円				
	下期	6.00円	6.00円				
	通期	11.00円	12.00円				

備考：為替レート的前提は、120円/US\$（1月以降）

セグメント別業績見通し (売上高/営業利益)

億円

	15年3月期 実績			16年3月期 見通し			対前年同期比 増減			前回見通し との差異	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期	
売上高	繊維	3,862	4,705	8,567	4,358	4,742	9,100	+497	+36	+533	—
	プラスチック・ケミカル	2,462	2,502	4,964	2,572	2,578	5,150	+110	+76	+186	-250
	情報通信材料・機器	1,218	1,261	2,480	1,250	1,300	2,550	+31	+39	+70	-100
	炭素繊維複合材料	766	817	1,584	943	957	1,900	+177	+140	+316	-100
	環境・エンジニアリング	834	966	1,800	826	1,124	1,950	-8	+158	+150	-150
	ライフサイエンス	265	305	570	264	336	600	-1	+31	+30	—
	その他	72	71	143	72	78	150	-0	+7	+7	—
連結	9,480	10,628	20,107	10,286	11,114	21,400	+806	+487	+1,293	-600	
営業利益	繊維	228	328	556	350	320	670	+123	-9	+114	—
	プラスチック・ケミカル	117	122	239	157	153	310	+39	+32	+71	—
	情報通信材料・機器	103	142	245	120	130	250	+16	-11	+5	—
	炭素繊維複合材料	118	145	262	186	184	370	+68	+40	+108	—
	環境・エンジニアリング	21	59	80	16	84	100	-5	+24	+20	—
	ライフサイエンス	17	24	41	6	34	40	-11	+10	-1	—
	その他	7	12	19	5	15	20	-2	+3	+1	—
	調整額	▲ 98	▲ 110	▲ 207	▲ 89	▲ 121	▲ 210	+9	-12	-3	—
連結	513	722	1,235	751	799	1,550	+238	+77	+315	—	

本資料中の2016年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry